

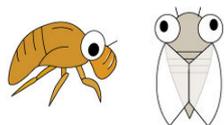
「みんなで調べた富山市の自然 2013」報告会のポイント

富山市科学博物館

3月15日(土)15:00-16:30

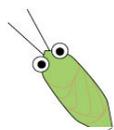
登録参加者数	126名(2012年度は83名)
集積データ数	2566件(2012年3月9日時点は868件)
結果公表	2012年9月から、ホームページで分布図を公開中。内容は随時更新。 最新は2014年1月23日版。 2012年10月から館2階ロビーの専用展示コーナーに分布図等を掲示。

各調査種の結果 (スクリーンに分布図などを表示して説明します)



セミ (抜け殻・成虫・鳴き声)

ニイニゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシ、ハルゼミ、ミンミンゼミ(報告数の多い順)の6種の報告がありました。これらは、昨年同様、市内に生息する主な種でした。



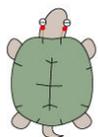
アオマツムシ

昨年同様、8月下旬から10月中旬まで、市内の平地一円から報告がありましたが、丘陵地から山地にかけての報告がほとんどありませんでした。



ホタル

ゲンジボタルが20件、ヘイケボタルが6件の報告がありましたが、予想より少なかったため、今後も継続調査が必要です。



アカミミガメ

平野部の池や小河川、丘陵の公園の池などで見つかりました。



ニホンジカ

婦中地域で交通事故死した例や里山の集落周辺、山地で目撃された報告がありました。



カエル

トノサマガエルは、市街地からはなれた郊外の水田地帯で記録されました。
ウシガエルは、丘陵の池で記録されました。



スズメ

街の中や平野部の水田地帯で記録されましたが、山地の集落ではわずかししか記録されませんでした。繁殖場所は、屋根瓦、建物のすき間、道路標識などでした。



カッコウ

市街地や郊外、山地で記録がありました。



ヒガンバナ

開花している期間は、2013 年は平年並みでしたが、2012 年は 1 週間程度おそく、異例であったことがわかりました。



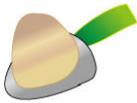
ソメイヨシノの花を見た日

富山市中心市街地では、開花した日・満開になった日ともに、富山地方気象台の記録より 1・2 日早いことがわかりました。呉羽山では 5~7 日遅れることがわかりました。



ヒメオドリコソウの広がり

20 年前には記録がなかった呉羽丘陵や各地の田園地帯からも多数の報告があり、市内のほとんど全域に広がって、多く生育していることがわかりました。



富山市の土の色

富山市内の土 114 試料（うち 12 試料未整理）が集まりました。すべて異なる色でしたが、およそ 43 色に分類されます。



酸性雨

6月は前線による雨、9月は台風と秋雨前線による雨、12月、3月は主に冬型気圧配置による雨と雪でした。6月は市街地で pH4.2 程度の強い酸性雨が観測されました。9月は全般に弱い酸性雨でした。12月は pH4.4-4.7 の中程度の酸性雨が、3月は pH4-4.3 の強い酸性雨の比率が高くなりました。

「富山市の身近な自然調査 2014」で追加されるもの



カワセミ

時折、町中の河川でも見られる水辺で生活するカワセミを調べます。



キジ

日本人に馴染み深く河川敷や農地など草原に生活するキジの分布を調べます。



アカトンボ

7月から 10 月頃に平地や野山など様々な場所でみられるアカトンボの種類と分布を調べます。

3月下旬から、ソメイヨシノとヒメオドリコソウの調査がはじまります。

調査のタイミングや報告の方法については、登録電子メールでお知らせいたします。

調査の詳細は「富山市の身近な自然調査」のページで公開しています。

2014 年度の説明会は、6 月 7 日(土) 10:00-12:00 に行います。

ところ：当館 多目的学習室

対象：一般、申込不要、無料